

“ジャンク箱”の中に久しぶりの物を発見！！

J A 1 F Y Q (佐藤)

最近、押し入れに入れてありました“ジャンク箱”を整理（私があの世界に行ったとき、残された人が苦労しないように！！）してしまいたら、昭和45年11月号（??）のCQ誌の付録だと思いますが“88シンプルトランジスタ回路集”（図1-1、図1-2）と言う小誌が出て来ました。思わず小誌の中を開けてびっくり！！アゴにヒゲが生えちゃったのではないかとつい鏡を見てしまい、“ふ〜う、生えてなかった”と安心した次第です。何故かという、（回路図は、今でも十分通用すると思います。）トランジスター、ダイオード、IC等の型が古く、最近のトランジスター、ダイオード、ICの比較が困難なのでどこかに比較表があればどうにかかなると思います。

最近では、殆ど半田ゴテを握る事がない“アマチュア無線人生”を送る昨今！！
どうにかして比較表を探して、この回路集を有効に使って見たいと思う次第です。（ボケ防止にも！！）

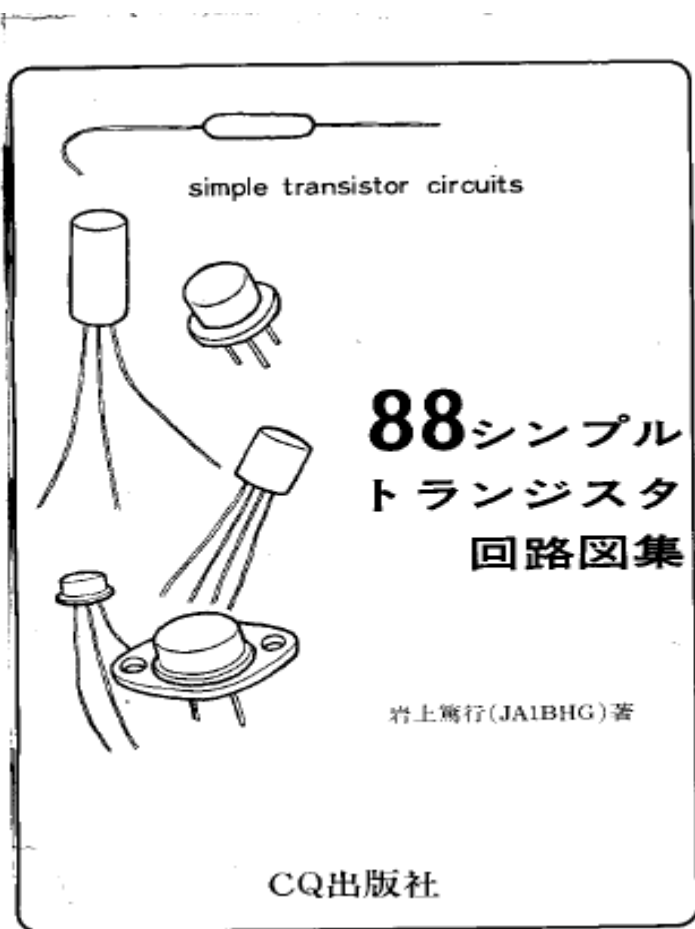


図1-1

♣ も く じ ♣

①	短編の基本回路	5
②	発振の基本回路	6
③	無誘起ピックアップ	6
④	キー・アンプ・キヤ	7
⑤	20~144MHz電界強度計	7
⑥	キー・アンプ用逆起回路	8
⑦	CWモータ	8
⑧	シフトノットレーサ	9
⑨	FMトランスミショータ	10
⑩	エレトロニクス温度計	10
⑪	FMノータ回路(その1)	11
⑫	FMノータ回路(その2)	11
⑬	14~20MHzドレイトアリセ	12
⑭	SCRによる電流制御装置	13
⑮	100kHzマーカー	13
⑯	ダイオード高周波スイッチ	14
⑰	パルスカウンタ式FM検波回路	15
⑱	SSB用パルスド・モジュレータ	16
⑲	4石VOC	17
⑳	1Cによるシミュレート回路	18
㉑	1CによるFM検波ユニット	18
㉒	ハンダこてり過熱防止回路	19
㉓	A用スケルトン	19
㉔	オートオシロスコープ	20
㉕	BWアンプ(変調部)	20
㉖	T _r の増幅率決定部	21
㉗	グライド・アップノータ用変調器	21
㉘	50MHz5Wアースター	22
㉙	F用スケルトン	23
㉚	オートオシロスコープ	23
㉛	小出力アンプを使ったインターホン	24
㉜	サイフ・コンプレッサ	25
㉝	ゲートICのフリップ・フロップ	25
㉞	144MHzアリコン	26
㉟	アクティブ・オシロスコープ	27
㊱	クリスタルQマルチ	27
㊲	50MHzFETアリコン	28
㊳	ダイオード使用高周波電圧計	29
㊴	増幅型ALC	29
㊵	50MHz2石コネクタ送信機	30
㊶	安定なVXO	31

図-2 (一例です。)

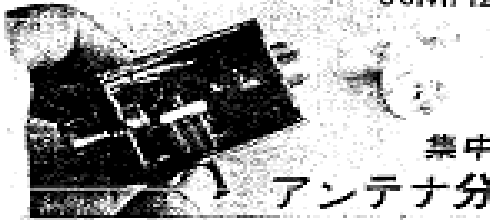
もし、OM各局でジャンク箱をお持ちになっている方がおられましたら、是非その箱を探して見て中身の確認をされては如何でしょうか??何か良いお宝が出てくるかもしれませんよ!!

もう一つ小誌のコピーが出てきましたので、御紹介させていただきます。標題には、「特集/V・UHF製作精選 PART3 50, 144MHz帯用 集中定数を用いたアンテナ分配器の試作 JA7RKB (十文字 正憲)」(図2)と出ています。

50MHz, 144MHz 帯用

JA7RKB
十文字 五香

集中定数を用いた アンテナ分配器の試作



はじめに

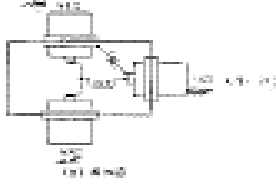
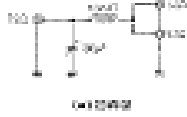
最近、多くのアマチュア無線愛好者は、無線機を自作するのみに留まらず、アンテナの自作にも力を入れています。これは、無線機の自作と同様に、自作のアンテナが、無線機の性能を最大限に引き出すために必要不可欠な要素の一つであるからです。また、自作のアンテナは、無線機の性能を最大限に引き出すために必要不可欠な要素の一つであるからです。また、自作のアンテナは、無線機の性能を最大限に引き出すために必要不可欠な要素の一つであるからです。

このアンテナ分配器は、集中定数を用いた回路で構成されています。この回路は、50MHzと144MHzの帯域で使用することができます。また、この回路は、アンテナの整合性を高めるために設計されています。この回路は、アンテナの整合性を高めるために設計されています。この回路は、アンテナの整合性を高めるために設計されています。

このアンテナ分配器は、集中定数を用いた回路で構成されています。この回路は、50MHzと144MHzの帯域で使用することができます。また、この回路は、アンテナの整合性を高めるために設計されています。この回路は、アンテナの整合性を高めるために設計されています。この回路は、アンテナの整合性を高めるために設計されています。

アンテナ分配器の試作

このアンテナ分配器は、集中定数を用いた回路で構成されています。この回路は、50MHzと144MHzの帯域で使用することができます。また、この回路は、アンテナの整合性を高めるために設計されています。この回路は、アンテナの整合性を高めるために設計されています。



(この写真は、最初の頁だけです。)

(図2)

この回路図は、御覧のとおりスタック用のアンテナ整合器です。頁数にして、5頁有りました。これからスタック運用を志している方には、朗報と言えると思います。是非、試されては如何でしょうか！！

